

平成 25 年度再評価対象事業
(対象：平成 20 年度再評価実施事業)

(再評価実施後、一定期間 (5年) が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業案)
	再評価時点 H20	浜川 総合流域防災事業 事業主体：県 事業地：鹿島市	流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減を図る。 計画流量 280m ³ /s 計画治水安全度 1/50	全体事業費：C=76億円 工期：S56～H34 改修延長：L=3,330m 計画流量：280m ³ /s 計画治水安全度：1/50 事業内容：堀削・築堤 護岸、橋梁7基、堰12基	国道207号バイパスより下流について、左岸側の一部区間の工事をH20で実施することにより完成する。今後、これより上流の用地買収の促進や工事進捗を図っていく。 参楽橋他4橋完成 堰1基完成 (H19末進捗率 57%) (年平均進捗率 2.1%)	(過去の災害実績) H2.7洪水 浸水戸数 285戸 農地浸水面積 110ha (地域の状況) この地区は、H18年7月に重要伝統的建造物群保存地区として国選定を受けている。また、H15年度から肥前浜町においては「町並み環境整備事業」に採択されている。これらのことから、周辺町並みの景観に配慮し、また、まちづくりと一体となった河川整備を実施してきた。	現在 (B/C) 14.1		再評価実施後 5年が経過	継続
	現時点 H25	浜川 河川整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金：総合流域防災事業)			国道207号バイパスの古場切橋まで完成している。今後、これより上流の用地買収の促進や工事進捗を図っていく。 (H24末進捗率 63%) (年平均進捗率 2.0%)	(過去の災害実績) 同上 (地域の状況) 近年、水田地帯において住宅の建設が行われてきている。	最新のマニュアルに基づき、費用対効果 (B/C) を算出した。 ・総便益 (一般資産被害額・農作物被害額・公共土木施設等被害額) B=206,606百万円 ・総費用額 C=13,521百万円 ・現在 (B/C) 15.3	・再生材の積極的利用 ・建設副産物の有効利用	再評価実施後 5年が経過	昭和37年、51年、平成2年等の洪水被害を軽減するため、流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、地域住民の安心・安全を確保するためには、当事業の継続が必要である。
	理由等	平成22年度より補助金が社会資本整備総合交付金化されたため					前回再評価時と比較し、住宅や事業所等の資産数量の増加により、Bが増加し、費用対効果の増となっている。			

